

令和6年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	上志の風	
事 業 名	先進地視察 北海道札幌市図書・情報館について	
事 業 区 分	①研究研修	②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市図書館が築54年を経過し、令和12年を目途に改築を計画しています。図書館の機能だけでなく、複合施設との統合化も含め、今年度から検討に入っています。札幌市の市民交流複合施設にどの様に図書館を整備し、利用者のニーズや企画事業に対応しているのか、参考にする所が多々あると考え、視察研修を実施した。

2 実施概要

実施日時		視察先	北海道 札幌市
令和 6 年 8 月 9 日（金） 11：00 ～ 12：00		担当部局	教育委員会 中央図書館利用サービス課 図書・情報館 館長
1	市の概要 札幌市は、北海道の道央地方に位置する政令指定都市で、北海道の政治、経済、文化の中心地です。大正 11 年市政が施行され、昭和 47 年政令指定都市に移行しました。気候は日本海型気候で、夏はさわやか、冬は積雪寒冷が特徴です。四季の移り変わりが鮮明で、冬季には最深積雪約 1mに達します。豊かな自然と都市機能が調和した魅力的な都市です。 面積：約 112,126 平方キロメートル （東西 42.30 km 南北 45.40 km） 人口：約 190 万人 行政区：10 区		

2 市の特徴

図書館の設置について、「札幌市長期総合計画」で1区1館構想に基づき、平成9年全区に図書館整備を完了した。その間、平成3年に中央図書館を移転・新築し、市内各図書館施設をオンラインで結ぶネットワークも完成した。平成10年にオフィスの多い中央区の特色に合わせ、利用時間に配慮したビジネスライブラリーを兼ねる「都心にふさわしい図書館」を整備する旨の陳情が採択された。

平成25年「市民交流複合施設整備計画」を策定し、市民交流複合施設に「ホール」「アートセンター」「都心にふさわしい図書館」を整備することとし、3つの施設は、各々独立したものではなく、利用者のニーズや企画事業に対応して、相互に連携し一体的に運営していく事を定めた。そして、平成30年10月札幌市民交流プラザがオープンし、仕事や暮らしを助ける課題解決型図書館として、「札幌市図書・情報館」が誕生した。

3 視察事項について

- ・「はたらくをらくにする」をコンセプトに気軽に寄れて頼りになる知的空間

事業内容・特徴

- ・仕事や暮らしに関する図書・情報提供

WORK（仕事に役立つ）・・・マーケット情報、起業、資格取得など

LIFE（暮らしを助ける）・・・医療、健康、法律など

ART（芸術に触れる）・・・舞台芸術、現代アートなど

◎関連機関との連携

関連機関の相談窓口開設や共済セミナーの開催による橋渡し。

- ・札幌の魅力発信

デジタル映像や図書で、札幌を訪れるひとや市民に札幌の魅力を紹介。

- ・知的な空間の創出

会話可能な室内空間や充実したIT環境で、交流や調べものを支援。

- ・市内の図書館は43図書施設がある。その中で、中央図書館は市内に立地していない。そして、市内各図書館施設をオンラインで結ぶネットワークで結ばれている。その為、都心型図書館として、1500平米と狭い空間の中に45,000冊に絞り、500種以上の雑誌と90種以上の新聞を揃えている。（児童書・小説は基本的に置いていない。ただし、入門書であればコミックや絵本も蔵書している）

- ・入館者数は、昨年78万人の利用者があり、今年度は90万人を見込んでいる。
（札幌中央図書館の利用者は40万人）

- ・札幌産業振興財団と連携し、能動的なセミナーなどを企画している。法律に関しては、法テラスの協力もいただいている。コンセプトである「はたらくをらくにする」に関連した年間30のセミナーを開催し、1,700名の参加がある。そしてセミナーに関連する本棚を紹介し、図書館としての情報の提供にも結び付けている。

報 告 内 容	・ 図書・情報館は、無料 Wi-Fi などネットからの情報収集をしやすい環境を整える一方、ミーティングやグループでの利用やコワーキングスペースの一面ももっており、地域の情報拠点として、人の持っている情報も大事にし、人とのつながりも大事にしている。 ・ 貸出をしない図書館として、人気の本の予約が 200～300 件入ると、読めるまでに 2～3 年かかる。欲しい情報は今欲しい。を実現するため、入館してもらえれば、誰かが読んでいなければ、確実に手に取って読める環境をつくっている。 ・ 職員数は 23 名。館長・副館長 3 名、一般事務 4 名、図書館司書 16 名、特別な資格を持った職員はいない。図書館司書が企画や価値の創造まで、幅広い分野まで担当している。また、図書館司書は全員が会計年度職員で、3～4 年で移動があり、通常の図書館とは違う環境でも対応し、開館当初のコンセプトを維持している。
----------------------------	--

札幌市は、「まちづくり戦略ビジョン」を策定し、「市民交流複合施設整備基本計画」と、「都心にふさわしい図書館基本計画」により、「はたらくをらくにする」をコンセプトにし、調査相談・情報提供に特化した「課題解決型図書館」として整備されている。そのため、図書館の固定概念にとらわれない、貸出をしない、飲食可能、会話可能、座席の予約が可能など、1500 平米の狭い空間の中で、45,000 冊に絞り、児童書・小説を置かず、入門書から専門書までの図書と、500 以上の雑誌、90 種類の新聞がそろっている。令和 4 年に視察をした、佐賀県武雄市図書館をさらに進化をさせた、気軽によれて頼りになる、知的な空間づくりをしている。

上田市にも、上田市図書館、丸子図書館、真田図書館、情報ライブラリーの 4 つの図書館があります。平成 16 年 4 月に上田情報ライブラリーを開館しています。そして、令和 6 年 4 月で 20 周年を迎えました。「暮らしとビジネス支援」「千曲川地域文化の発信」をコンセプトにしています。また、市民団体等との協働で、各種セミナーやイベントを企画開催するなど、市民協働による図書館づくりが行われています。20 周年を迎え、駅前の人が集まりやすい好立地の図書館として、コンセプトに対して評価をし、先を見据えた図書館の方向性を明確にしていく必要があると考える。

今回の視察は、上田図書館が築 54 年を経過し、令和 12 年を目途に改築を計画し、複合施設との統合化も含め、今年度から検討に入ったことで、札幌市を視察しましたが、上田市の先を見据えたまちづくりの基本ともなる、第二次上田市総合計画後期まちづくり計画が令和 7 年度で終了します。第三次上田市総合計画後期まちづくり計画の中で、市内にある 4 つの図書館のコンセプトを明確にし、気軽に寄れてワクワクするような図書館を目指してもらいたい。そして、我々会派も今回の視察を活かした提言をして参ります。



* 視察先の写真等がある場合は添付のこと